

## ■ 科目名[英文名]

実験社会科学入門 [Introduction to Experimental Research in Social Sciences]

## ■ 授業の目標

社会科学の研究では、実験を通じて、ある制度や人間性に関する理論モデルの妥当性を評価し、そしてその結果をもとにさらにそのモデルを洗練していく過程が極めて重要である。本授業科目では、社会科学の実験法に関する入門書、実証実験をもとにした研究論文、および体験実験を通じ、社会科学実験の意義についてわかりやすく解説し、社会科学において実験が果たす役割について討論する。

## ■ 到達目標

社会科学の研究における実験の必要性についての一般的認識を得る  
社会科学実験の計画法について学ぶ

## ■ 授業計画

- ・社会科学の実験法に関する入門書を用い、実験の重要性に関して講義する。
- ・代表的な研究論文をいくつか取り上げて、それを講読し、そこにおける実験の意義について討論する
- ・実際に社会科学実験を体験する

## ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

次週の学習に必要な準備、小課題等を課す

## ■ 成績評価の基準と方法

授業への参加、1～2回の発表、および期末レポートによって評価する

## ■ テキスト・教科書

清水和巳・河野勝編著『入門・政治経済学方法論』(東洋経済新報社)、Friedman & Sunder 著、川越敏司ほか訳『実験経済学の原理と方法』(同文館) など

## ■ 参照ホームページ

<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/cerss/>